

令和 3 年度

予算説明書



*Dream Sight MORIYA*

**守谷市**

〔教育委員会 生涯学習課 所管〕

03020111 児童クラブ運営事業

予算書P. 117

(単位：千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	288,415	207,099	81,316	
国庫支出金	45,383	30,173	15,210	子ども・子育て支援交付金 (放課後児童健全育成事業)
県支出金	45,383	30,173	15,210	子ども・子育て支援交付金 (放課後児童健全育成事業)
地方債	0	0	0	
その他	53,561	42,826	10,735	児童クラブ入所負担金
一般財源	144,088	103,927	40,161	

【背景(なぜ始めたのか)】

共働き家庭が増加する中、就労支援対策として、平成4年9月仲町（現守谷小学校）児童クラブの開設をスタートに、平成5年に北守谷（現御所ヶ丘小学校）児童クラブ、平成7年に南守谷（現松ヶ丘小学校）児童クラブを開設し、平成8年度から平成12年度までの間に全小学校に児童クラブを開設した。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

放課後帰宅しても、就労などにより保護者が日中家庭にいない小学生を対象に、児童の安全・安心な居場所を確保し、保護者の就労を支援するとともに、児童の健全育成を図る。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

平日の授業終了後から午後7時まで、また、土曜日、長期休業期間（春休み、夏休み、冬休み）及び学校振替休業日は午前7時30分から、小学校ごとに整備した専用室において運営している。

令和3年度は、黒内小学校が3クラブ増となり、合計31クラブの常設施設に加えて、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴い、学校の特別教室を借用するなど、1クラブ室当たりの人数を減らして、「新しい生活様式」を取り入れた生活の場を提供する。

施設の老朽化に伴い、大井沢小第1クラブ、松ヶ丘小第4クラブの床、外壁塗装等の改修を行う。

保護者の多様なニーズに応えるため、付加価値の高いサービスが提供できる民設クラブに対する補助制度の創設を進め、令和4年度からの導入を目指す。

運營業務委託 株式会社アンフィニ

委託期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日 5年間



クラブ室(自主学習の時間)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	4,275	4,500	△ 225	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	4,275	4,500	△ 225	

## 【背景(なぜ始めたのか)】

地域活性化を目的に、県事業の「国際芸術文化交流拠点整備構想(アーカス構想)」を誘致し、平成6年度の試行を経て、平成7年度から「アーカス構想パイロット事業」、平成12年度から現在の「アーカスプロジェクト」がスタートした。

## 【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

県主催のアーカスプロジェクトに参画することにより、市民に芸術文化活動の体験機会を提供するとともに、地域の文化活動の推進と市のイメージアップを図る。

アーティストとの交流機会を提供することで、子どもたちの豊かな心と感性を育てる。

## 【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

市は負担金を支出し、もりや学びの里の施設を提供して、県、市、関係機関からなる実行委員会(事務局:県)によるアーカスプロジェクトの運営により、アーティストの招へい及び制作支援、活動発表会(レジデンスプログラム)や、一般向け、子ども向けアートイベント(地域プログラム)を開催する。

また、市内イベント活動等の運営や事業広報活動を支援する。



招聘アーティストによる創作活動(令和元年11月)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	2,424	2,846	△ 422	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	2,424	2,846	△ 422	

**【背景(なぜ始めたのか)】**

市民が行う芸術文化活動の自主性・創造性を尊重し、その活動を促進するとともに、相互の連携・協力の機会提供を通して、担い手の育成及び市における総合的な芸術文化振興の推進を目指して開始した。

※令和3年度から「夕べのコンサート事業」「芸術祭事業」「守谷市美術作家展事業」「文化協会補助事業」を統合

**【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】**

市民やサークル・団体等に芸術文化活動の発表の機会を提供するとともに、昭和52年に設立された「市文化協会」に対する補助事業を通して、市民が身近に芸術文化に触れることができる環境の充実を図る。

**【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】**

1 夕べのコンサート

8月に市内で活動する音楽サークルによるコンサートを開催する。これまで市庁舎で開催してきたが、課題であった猛暑や天候急変等の対策として、令和2年4月にリニューアルした中央公民館ホールに会場変更し、音響・照明等、改修した設備を活用して開催する。

2 守谷市芸術祭

11月に中央公民館を主会場に、市文化協会との共催による美術展、生花展、若い芽のコンサート、ふれあい茶会、芸能祭を開催する。

3 守谷市美術作家展

2月下旬に市民交流プラザギャラリーを会場に、市内で活動し、多くの美術展で入賞・入選されている美術作家の展覧会を開催し、芸術鑑賞の機会を提供する。

4 市文化協会の活動支援

芸術文化活動を通して、市の発展と市民の文化交流に努める市文化協会の活動を支援する。

(守谷市芸術祭のほか、講座・教室、コンサート等開催予定。団体数：80団体、会員数：約550名)



夕べのコンサート(令和元年8月)

10040111 もりや学びの里施設維持管理事業

予算書P. 217

(単位：千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	14,380	15,310	△ 930	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	738	739	△ 1	もりや学びの里使用料
一般財源	13,642	14,571	△ 929	

**【背景(なぜ始めたのか)】**

旧大井沢小学校の廃校に伴い、学校施設を新たに生涯学習施設として利用するため、平成8年度に「もりや学びの里」を開設した。

**【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】**

世代を超えて利用できるコミュニティ施設として、市民が生涯学習や趣味活動ができる場を提供する。

**【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】**

廃校施設を市民の生涯学習施設としてサークル活動，研修等に活用するため，設備，機械等の管理及び保守点検や計画的な修繕等を実施する。

主要施設 体育館/和室/講座研修室/音楽室/調理室/創作工芸室/バーベキュー施設  
 主な施設管理業務 施設管理業務/建物清掃/自家用電気設備保安管理/自動ドア保守点検/体育器具点検/  
 消防設備点検/植栽管理等



もりや学びの里

10040117 スポーツ・文化振興奨励事業

予算書P. 219

(単位：千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	2,525	2,681	△ 156	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	2,525	2,681	△ 156	

**【背景(なぜ始めたのか)】**

スポーツ・文化に親しみ，県代表として全国大会等に出場する市民を奨励し，出場に係る経費の負担軽減を図るため，平成14年度に奨励金交付制度を設けた。

**【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】**

スポーツ及び文化の振興を図り，市民の健康づくりと文化意識の高揚に寄与する。

**【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】**

「守谷市スポーツ・文化振興奨励金交付要綱」に基づき，スポーツ又は文化で全国大会出場の功績をあげた個人又は団体に対して記念品と奨励金を交付し，栄誉を讃える。

交付対象 要綱で規定する全国大会，アジア選手権大会，世界選手権大会，オリンピック・パラリンピック等  
 文部科学省等が主催又は後援する全国規模以上のコンクール，国際コンクール等



奨励金交付対象大会  
 (世界選手権・トランポリン競技)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	2,906	3,104	△ 198	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	2,906	3,104	△ 198	

## 【背景(なぜ始めたのか)】

新成人の門出を祝い励ますとともに、大人の社会に仲間入りすることの自覚を促すため、毎年開催している。

## 【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

新成人を対象に、人生の節目を記念して成人式を実施し、次代の担い手として今後の活躍を願い祝福する。祝福を受けることで、成人としての自覚を持ってもらう。

## 【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

新成人による運営委員会を組織し、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に配慮した内容・方法で式典の準備や運営を行う。

会場設営を委託し、守谷駅から会場(常総運動公園総合体育館)まで送迎バス(往復2便)を運行する。

開催日等 令和4年1月9日(日)(予定)

対象者 平成13年4月2日～平成14年4月1日生まれの方

※参考:令和3年成人式典 対象者数718人 うち、出席者数453人(出席率63%)

内容 第1部:成人式典 第2部:新成人主催イベント(予定)



はたちの主張



新成人による運営協力員

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	35,673	63,002	△ 27,329	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	14,539	15,809	△ 1,270	放課後子供教室推進事業費補助金
地方債	0	0	0	
その他	6,921	8,959	△ 2,038	放課後子ども教室事業保護者負担金
一般財源	14,213	38,234	△ 24,021	

**【背景(なぜ始めたのか)】**

子ども達に関わる重大事件の発生や地域や家庭の教育力の低下等の課題に対応し、心豊かでたくましい子どもを社会全体で育てるため、地域の方々の協力を得て、平成19年度から学校等を活用するなど計画的に子ども達が安心して活動できる居場所を提供している。

**【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】**

子ども達の安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、学習活動やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、子ども達の社会性、自主性、創造性等の豊かな人間性を育むとともに、地域コミュニティの充実を図る。

**【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】**

放課後子ども総合プランとして、小学校の校庭・体育館・特別教室等を活用して、遊び、スポーツ・文化等の活動が体験できる場を提供する。

運營業務を民間事業者に委託し、児童クラブと一体型の運営を行い、プランマネージャーを中心に、地域ボランティアを活用して、放課後児童支援員と連携した活動を行う。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等を考慮し、4月当初からの実施を延期する。活動場所の環境や今後の感染状況等を踏まえて、実行委員会で、参加人数の制限、活動時間の短縮等の実施方法を検討し、開始時期を決定する。

運營業務委託 株式会社アンフィニ

委託期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日 5年間



サッカー教室



フラワーアレンジメント教室(令和元年度)

10040202 文化財保護事業

予算書P. 222

(単位:千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	3,760	11,313	△ 7,553	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	3,760	11,313	△ 7,553	

**【背景(なぜ始めたのか)】**

文化財保護法第190条に基づき、昭和52年に守谷市文化財保護条例を制定し、先人からの優れた遺産である文化財を適切に保護・活用し、未来に伝えていくこととした。

**【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】**

市内に存する有形無形の文化財を保護し、未来に伝えていくとともに、文化財愛護や郷土理解の心を育む。

**【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】**

文化財保護審議会の答申に基づき、市内の文化財（未指定含む）に関する調査・評価を行い、特に価値の高いものについては指定（市、県）や記録保存等の措置を取る。

指定史跡や天然記念物の維持管理を行う。

埋蔵文化財の所在が見込まれる土地で土木工事等が行われる場合には、事前に試掘調査を行う。

守谷城址の魅力を高めるとともに、市民の郷土に対する愛着と誇りを喚起し、市のイメージアップを図るため、城址に関する研究と周辺エリアを含めた自然環境の保存・整備を行う市観光協会に委託し、市制施行20周年記念事業誌2種（郷土誌・自然誌）を制作する。



守谷歴史さんぽ(令和元年11月)

10040401 公民館運営管理事業

予算書P. 223

(単位:千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	127,622	126,188	1,434	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	557	557	0	公民館貸付料
一般財源	127,065	125,631	1,434	

**【背景(なぜ始めたのか)】**

市民のコミュニケーション及び生涯学習の場を提供するため、社会教育施設として、昭和56年に中央公民館、平成4年に郷州公民館、平成8年に高野公民館、平成11年に北守谷公民館を開館した。

平成24年度からは、地方自治法第244条の2の規定に基づき指定管理者制度を導入し、民間事業者が有するノウハウを活用した施設の管理運営を開始した。

**【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】**

多様化・高度化する市民の学習ニーズに対し、幅広い年齢層に学習機会の提供を行い、利用者が安全で快適に学習活動や趣味活動等ができる場所を提供する。

指定管理者による管理運営により、市民ニーズに効果的、効率的に対応し、民間能力の活用とサービス向上を図る。

**【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】**

指定管理者による施設の管理運営を行うとともに、適正かつ確実なサービスが提供されているか、サービスの安定的・継続的な提供が可能か状態にあるかなどを確認する月次報告に加え、現地調査、管理運営状況の評価等を行うモニタリングを実施し、必要に応じて改善に向けた指導・助言を行う。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に配慮した館運営を継続し、公民館が地域における住民同士の交流や生涯学習の拠点であることを踏まえ、従来行ってきた講座等を在宅でも受講できるようオンライン講座等の推進やSNSによる情報配信を積極的に行う。

指定管理者 アクティオ株式会社・守谷市シルバー人材センター共同事業体

指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日 5年間



中央公民館



郷州公民館



高野公民館



北守谷公民館

10050104 市スポーツ協会補助事業

予算書P. 230

(単位：千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	1,800	1,600	200	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	1,800	1,600	200	

【背景(なぜ始めたのか)】

市民がスポーツに親しむことができ、技術の向上、健康増進と地域の親睦・融和を図るための組織として、昭和43年に設立された「守谷市体育協会」に対する補助事業として開始した。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

市民の健康増進と体力向上のため、各種運動競技の普及発展と競技力向上を目的に活動する現体育協会の自主的な事業を支援し、市民交流とスポーツ活動の推進を図る。

また、市が主催するスポーツ大会やイベントへの協力など体制強化を図る。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

令和3年4月から「守谷市体育協会」が「一般社団法人守谷市スポーツ協会」として法人化することに伴い、組織体制が整うまでの期間、市から事務局職員を派遣する。

また、引き続き、補助金を交付し、各種スポーツ大会、技術講習会等の活動を助成し、市民がスポーツ活動に参加することにより体力の向上及び健康増進を図るとともに、市スポーツ協会及び加盟団体の組織強化を支援する。

部会数 18部会 (令和3年1月現在)



ゴルフ部会主催  
ジュニアゴルフ教室  
(令和2年3月)



バスケットボール部会主催  
連盟大会  
(令和2年2月)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	2,440	2,948	△ 508	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	2,440	2,948	△ 508	

## 【背景(なぜ始めたのか)】

青少年の健全育成と少年期におけるスポーツの楽しさを伝えるため、昭和57年に設立された「守谷市スポーツ少年団本部」に対する補助事業として開始した。

## 【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

各種競技の普及・発展、競技力向上と各少年団間の交流を目的に活動するスポーツ少年団本部の自主的な事業を支援し、青少年健全育成と児童の体力向上に寄与する。

## 【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

補助金を交付し、スポーツ少年団が部会単位で開催する各種スポーツ大会、技術講習会等の運営費、市の代表として出場する全国大会等遠征費を助成する。

また、日本スポーツ協会の指導者登録制度改正により、単位団ごとに資格取得者2名の設置が義務化されるとともに登録料が徴収されることから、その費用負担を支援する。

守谷市スポーツ少年団の交流会を実施することで、各単位団の交流を深め、親睦を図るとともに、子ども達の体力、精神面の健全な発達と集団の中での協調性を養う。

スポーツ少年団数 23単位団 (令和3年1月現在)



守谷市出身元Jリーガーによる  
オンライン講習(サッカー部会)



守谷市スポーツ少年団交流会  
(令和元年10月)



取手ブロック交流会  
(令和元年11月)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	3,043	1,878	1,165	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	565	509	56	各種市スポーツ事業参加費
一般財源	2,478	1,369	1,109	

**【背景(なぜ始めたのか)】**

国(スポーツ庁)が推進するスポーツによる地域活性化施策と連携し、市民生活の質向上や健康増進、さらに地域の特色を活用した交流の創出を狙う取組を充実させることを目指して開始した。

※令和3年度から「各種スポーツ大会開催事業」「スポーツフェスティバル開催事業」を統合

**【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】**

市民のスポーツ・運動習慣定着化の促進及び個々の適性やライフステージに応じたスポーツの機会提供を行うとともに、市スポーツ協会(現体育協会)や近隣自治体等との連携により、スポーツ推進体制の強化を図り、スポーツによる地域活性化に持続的に取り組む。

**【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】**

1 各種スポーツ大会

協会との共催により、軟式野球大会、バドミントン大会、バレーボール大会、バスケットボール大会、ソフトボール大会、テニス大会、ソフトテニス大会、グラウンドゴルフ大会、卓球大会を開催する。

2019年茨城国体を記念し、常総市・坂東市と共催で、茨城県中学校ハンドボール大会を開催する。

2 スポーツイベント

誰もが気軽にスポーツに親しむきっかけづくりと市民の健康増進、体力向上を図る機会を提供する。  
 パラスポーツ(ボッチャ・ブラインドサッカー等)の魅力を体験できる機会を提供する。

3 広域連携による地域活性化

県南西地区自治体によるスポーツを核としたまちづくりに向けた取組を継続する。

4 企業との包括連携によるスポーツ人口増加促進

相互連携により、食やスポーツを通じた健康づくり、運動・スポーツの定着化促進など、市における地域の更なる活性化と市民サービスの向上を図る。

※会場分散型や少人数型など、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に配慮したイベント開催を検討する。



パラスポーツ

(左)ブラインドサッカー (右)ボッチャ(令和2年10月)

スポーツ月間イベント「グラウンドゴルフ大会」

10050108 守谷ハーフマラソン開催補助事業

予算書P. 231

(単位:千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	3,000	3,000	0	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	3,000	3,000	0	

**【背景(なぜ始めたのか)】**

マラソンを通じて市民相互の交流と、市の知名度向上を図るため、昭和59年から実施している大会に対する補助事業として開始した。

**【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】**

「守谷ハーフマラソン」への参加により、幅広い年齢層の人々に健康増進をもたらすとともに、全国からの参加者に守谷市の素晴らしさをPRする。

また、大会運営に多くのボランティアが参加しており、市民相互の交流を深める機会になっている。

**【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】**

大会は守谷市スポーツ協会が主催し、市からの補助金の他、参加費及び企業協賛等により実施している。毎年2月上旬に開催しており、ハーフマラソン・5km・3km・2kmの男女年代別の種目を設定し健脚を競い合う。

ハーフマラソンは、日本陸上競技連盟公認コースで茨城陸上競技協会の公認大会となっている。

大会運営の係員は約800名で、市スポーツ協会会員や市民ボランティア等の協力を得ているが、今後、継続的に関わることができる人材を確保するため、ボランティアスタッフを市内外に広く募集する。



ハーフマラソンスタート



折り返し地点の給水所



衣類リユースプロジェクト  
(SDGsへの取組)



オンラインマラソン仮想ゴール



オンラインマラソンフォトブース